

一般社団法人島根県歯科医師会立 島根県歯科技術専門学校

令和6年度 自己評価

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

項目	設問	平均点
(1) 教育理念・目標	1. 教育理念並びに教育目標が明示されているか	3.7
	2. 教育目標は卒業時の到達がよみとれるものになっているか	3.4
	3. 教育理念・目標などが教職員・学生等に周知がなされているか	3.7
	4. 各学科の教育目標は、業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.5
今後の課題と方策	方策 より高いレベルを目指していく	
(2) 学校運営	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
	2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8
	3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.8
	4. 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.3
	5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.5
	6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.2
	7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8
	8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4
今後の課題と方策		
(3) 教育活動	1. カリキュラムは教育目標が反映されているか	3.6
	2. カリキュラムは体系的に編成されているか	3.6
	3. 歯科医療業界の状況に応じて、カリキュラムの見直し等がなされているか	3.3
	4. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6
	5. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.2
	6. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.4
	7. 教育目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
	8. 教職員の教育指導力を向上させる研修を行っているか	3.2
今後の課題と方策	課題①開業医の教員については、研修会を行いにくい状況ではある 方策①機会を捉えては情報提供を続ける	
(4) 学習成果	1. 就職率の向上が図られているか	3.6
	2. 資格取得率の向上が図られているか	3.4
	3. 退学率の低減が図られているか	3.1
	4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1
今後の課題と方策	課題①退学者が出ないよう努力する 方策①同じ目標に向かって努力している学友の存在を意識できるよう事あるごと、伝える 課題②卒後の追跡は困難 方策②同窓会と在学中につながる機会（講義等）を持つこと	

項目	設問	平均点
(5) 学生支援	1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6
	2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7
	3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7
	4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8
	5. 保護者と適切に連携しているか	3.7
	6. 卒業生への支援体制はあるか	3.7
	7. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3.5
今後の課題と方策		
(6) 教育環境	1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4
	2. 学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.4
	3. 防災に対する体制は整備されているか	3.6
今後の課題と方策		
(7) 学生の受入れ募集	1. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
	2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6
	3. 学納金は妥当なものとなっているか	3.7
今後の課題と方策		
(8) 財務	1. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7
	2. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.7
	3. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.9
今後の課題と方策		
(9) 法令等の遵守	1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
	2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.6
	3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.6
	4. 自己評価結果を公開しているか	3.8
今後の課題と方策		
(10) 社会貢献・地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
	2. 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.8
今後の課題と方策		